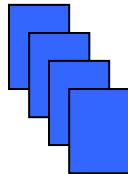


## ニッセイ投資型年金(90歳原資保証型) ドリームセレクト90

—無配当変額年金保険(H13)—  
【90歳年金原資保証特約(H15)付】

### 特別勘定の運用概況



- 1 特別勘定のラインアップ
- 2 特別勘定の運用状況(ユニット価格および資産残高)
- 3 ユニット価格とユニット価格騰落率の状況
- 4 お客様にご負担いただく費用について  
(参考)組入投資信託の運用レポート

#### 【ご留意いただきたい事項】

- 当資料は、『ニッセイ投資型年金(90歳原資保証型)ドリームセレクト90』の各特別勘定について運用状況等を開示するための資料です。
- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 特別勘定のユニット価格の値動きは、特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の値動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備え一定の現預金等を保有していることや、ユニット価格の計算にあたり、保険契約関係費等を控除することによります。
- お受取りいただく合計額が一時払保険料を下回ることがあります。  
当商品は、国内外の株式・債券等で運用しており、運用実績にもとづいて死亡給付金額や積立金額・解約払戻金額等が日々増減しますので、株価や債券価格の下落、為替の変動により、積立金額、解約払戻金額等が一時払保険料を下回ることがあり、損失が生じる可能性があります。
- 年金の原資が最低保証されない場合があります。  
90歳で年金支払を開始する場合、年金の原資について基本給付金額と同額が最低保証されます。ただし、年金支払開始日の繰上げにより、90歳より前に年金支払を開始した場合、「特別勘定から一般勘定への移行」を行った場合および解約・失効などにより契約が消滅した場合は、年金の原資は最低保証されません。
- 当商品にかかる費用については、《4 お客様にご負担いただく費用について》をご覧ください。

【新規のご契約のお取扱いはしておりません。(増額につきましては、引続きお取り扱いしております。)]

詳しくは、変額保険販売資格を持った生命保険募集人までお気軽にご相談ください。

引受保険会社:  
日本生命保険相互会社

〒113-8661  
東京都文京区本駒込2-28-8 文京グリーンコート  
ニッセイダイレクト事務センター 電話番号0120-562-186(通話料無料)  
【受付時間】月～金曜日9:00～17:00(祝日、12/31～1/3を除く)  
ホームページアドレス <https://www.nissay.co.jp>

募集代理店:

# 特別勘定の運用概況

＜ニッセイ投資型年金(90歳原資保証型)ドリームセレクト90＞

## 1 特別勘定のラインアップ

ファンドコード	特別勘定名	＜主たる投資対象となる投資信託／投資信託委託会社＞ 投資信託の運用方針／投資リスク	ベンチマーク	信託報酬率
---------	-------	--	--------	-------

### 【当社指定の特別勘定】(必ず組み入れていただくファンド)

2410	日本公社債Ⅲ型(NL-JB)	日本の(超)長期国債を中心とした投資を行います。 日本国債を中心とする市場インデックス(NOMURA-BPI(国債))を残存年数別に合成したものをベンチマークとします。(詳細は変額保険販売資格を持った生命保険募集人までお問合せください。また、将来の資金動向、市況動向およびその他の見通しなどによってはベンチマークを見直す可能性ががあります。) 原則として公社債の組入比率を高位に保ち、デュレーションおよび残存年数別構成比をベンチマークから大きく乖離させないように努めますが、保険契約の異動などに備え一定の現預金などを保有することがあります。 資金動向、市況動向およびその他の見通しなどによっては、上記のような運用ができない場合があります。なお、当特別勘定では、日本生命が直接運用します。 【投資リスク】主に「金利変動リスク」などがあります。	NOMURA-BPI(国債)を残存年数別に合成したもの	—
------	----------------	--	-----------------------------	---

### 【選択いただける特別勘定】(自由にご選択いただけるファンド)

2420	日本株式Ⅲ型(NI-TX)	＜ニッセイ国内株式インデックスSA <sup>※</sup> ／ニッセイアセットマネジメント＞ 日本の証券取引所上場株式を実質的な主要投資対象とし、TOPIX(東証株価指数)の動きに連動する投資成果を目標とした運用を行います。銘柄選定は原則として株式会社ニッセイ基礎研究所が独自に開発したインデックス運用モデルを利用して行います。外貨建資産への投資は行いません。 【投資リスク】主に「株式の価格変動リスク」などがあります。	TOPIX(東証株価指数)(配当込み)	年率0.0825%(税抜0.0750%)
2442	世界公社債Ⅲ型(NI-GB)	＜ニッセイ外国債券アクティブSA <sup>※</sup> ／ニッセイアセットマネジメント＞ 日本を除く世界主要先進国の公社債を実質的な主要投資対象とし、投資信託財産の中長期的な成長を目指します。グローバルなファンダメンタルズ分析に基づく債券デュレーション・満期構成・国別配分・通貨配分戦略、および為替リスクを動向したヘッジ率調整によりポートフォリオを構築します。 【投資リスク】主に「金利変動リスク」、「為替変動リスク」などがあります。	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)	年率0.550%(税抜0.50%)
2450	世界株式Ⅲ型(MS-KO)	＜インベスコMSCIロクサイ・インデックス・ファンド <sup>※</sup> ／インベスコ・アセット・マネジメント＞ マザーファンドへの投資を通じ、投資信託財産の長期的な成長を目的として積極的な運用を行うことを基本とします。マザーファンドは、モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル・ロクサイ指数(MSCIロクサイ指数)に連動した投資成果を目指します。実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 【投資リスク】主に「株式の価格変動リスク」、「為替変動リスク」などがあります。	MSCIロクサイ・インデックス(税引後配当込み、円換算ベース)	年率0.44%(税抜0.40%)
2460	日本マネーⅢ型(NL-MP)	コールローンや預金などの短期金融商品に投資し、安定したインカムゲインを追求します。なお、当特別勘定では、日本生命が直接運用します。 【投資リスク】主に「金利変動リスク」、「信用リスク」などがあります。	—	—

※ 適格機関投資家専用で設定される私募投資信託です。適格機関投資家向けであることを示す名称(適格機関投資家限定など)は省略して表記しています。

- 主たる投資対象となる投資信託の組入比率は、原則高位を維持しますが、保険契約の異動等に備え一定の現預金等を保有します。
- 《1 特別勘定のラインアップ》に記載の事項は概要を示しています。詳細については、別途ご提供する「特別勘定のしおり」をご確認ください。

- 当資料は、『ニッセイ投資型年金(90歳原資保証型)ドリームセレクト90』の各特別勘定について運用状況等を開示するための資料です。
- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 特別勘定のユニット価格の値動きは、特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の値動きとは異なります。これは特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動等に備え、一定の現預金等を保有していることや、ユニット価格の計算にあたり、保険契約関係費等を控除することによります。
- 巻頭に《ご留意いただきたい事項》を記載しておりますので、必ずご確認ください。

# 特別勘定の運用概況

< ニッセイ投資型年金(90歳原資保証型)ドリームセレクト90 >

## 2 特別勘定の運用状況 (ユニット価格および資産残高)

(2025年3月31日現在)

ファンドコード	特別勘定名	ユニット価格 (円)			主たる投資対象となる投資信託	投信会社	組入比率	資産残高 (百万円)
		今月末	騰落率	前月末				
2410	日本公社債Ⅲ型 (NL-JB)	10,881	-3.14%	11,233	(当特別勘定は日本生命が直接運用します)	-	96.6%	1,373
2420	日本株式Ⅲ型 (NI-TX)	19,972	-0.04%	19,979	ニッセイ国内株式インデックスSA (適格機関投資家限定)	ニッセイアセットマネジメント	96.9%	945
2442	世界公社債Ⅲ型 (NI-GB)	10,839	0.83%	10,750	ニッセイ外国債券アクティブSA (適格機関投資家限定)	ニッセイアセットマネジメント	97.0%	324
2450	世界株式Ⅲ型 (MS-KO)	38,892	-3.78%	40,419	インベスコ MSCIコクサイ・インデックス・ファンド I (適格機関投資家専用)	インベスコ・アセット・マネジメント	96.9%	564
2460	日本マネーⅢ型 (NL-MP)	5,492	-0.21%	5,504	(当特別勘定は日本生命が直接運用します)	-	-	6

※ ユニット価格(1万口当り)は、円未満を切り捨てて表示しています。

※ 資産残高の金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

※ 投資信託の組入比率は、発注等を加味した各特別勘定の実質的な組入比率です。(日本公社債Ⅲ型(NL-JB)は公社債の組入比率です)。

※ 日本公社債Ⅲ型(NL-JB)の運用状況

	NL-JB	ベンチマーク※
残存年数別構成比	3年未満	3.2%
	3年以上7年未満	-
	7年以上11年未満	-
	11年以上15年未満	-
	15年以上	96.8%
デュレーション(年)	19.20	19.13

※ NOMURA-BPI(国債)を残存年数別に合成したもの

※ 日本マネーⅢ型(NL-MP)の資産の内訳

国債	0.0%
現預金・コールローン等	100.0%
合計	100.0%

■当資料は、『ニッセイ投資型年金(90歳原資保証型)ドリームセレクト90』の各特別勘定について運用状況等を開示するための資料です。

■当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

■特別勘定のユニット価格の値動きは、特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の値動きとは異なります。これは特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備え、一定の現預金等を保有していることや、ユニット価格の計算にあたり、保険契約関係費等を控除することによります。

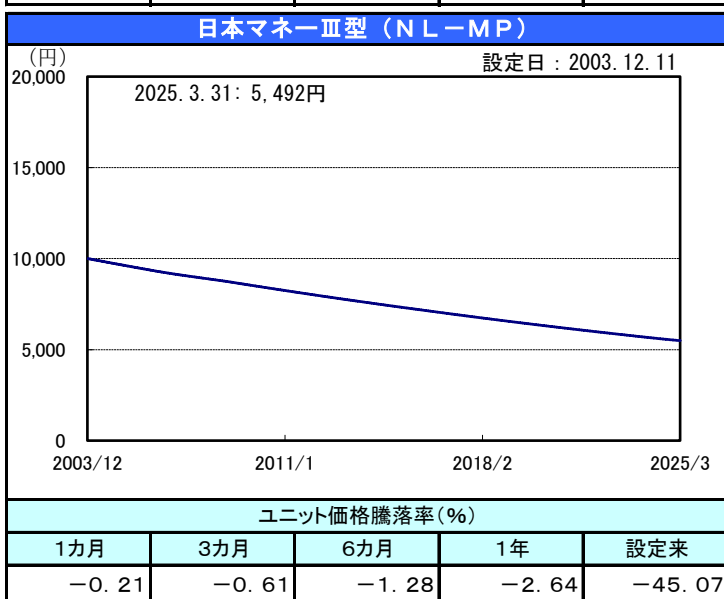
■巻頭に《ご留意いただきたい事項》を記載しておりますので、必ずご確認ください。

# 特別勘定の運用概況

＜ニッセイ投資型年金(90歳原資保証型)ドリームセレクト90＞

## 3 ユニット価格とユニット価格騰落率の状況

(2025年3月31日現在)



- 当資料は、『ニッセイ投資型年金(90歳原資保証型)ドリームセレクト90』の各特別勘定について運用状況等を開示するための資料です。
- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 特別勘定のユニット価格の値動きは、特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の値動きとは異なります。これは特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備え、一定の現預金等を保有していることや、ユニット価格の計算にあたり、保険契約関係費等を控除することによります。
- 巻頭に《ご留意いただきたい事項》を記載しておりますので、必ずご確認ください。

# 特別勘定の運用概況

＜ニッセイ投資型年金(90歳原資保証型)ドリームセレクト90＞

## 4 お客様にご負担いただく費用について

\* 以下内容は将来変更されることがあります。

### ■ 据置(運用)期間中の費用

＜すべてのご契約者にご負担いただく費用＞

次の費用を控除したうえでユニット価格は計算されます。

項目	目的	費用	時期
保険契約関係費	当保険契約の締結および維持などに必要な費用ならびに基本給付金額を最低保証するための費用および災害死亡給付金を支払うための費用。	「当社指定の特別勘定」(日本公社債Ⅲ型)の資産総額に対して ・・・年率1.0%	特別勘定の資産総額に対して年率1.0%/365日を毎日控除します。
		「選択いただける特別勘定」の資産総額に対して ・・・年率2.9%	特別勘定の資産総額に対して年率2.9%/365日を毎日控除します。
資産運用関係費(※1)	特別勘定の運用にかかわる費用。特別勘定の投資対象となる投資信託の信託報酬などが含まれます。	特別勘定ごとに異なります。信託報酬率については、《1 特別勘定のラインアップ(P2)》をご参照ください。	各特別勘定の資産総額から所定の金額を毎日控除します。

※1 資産運用関係費には、信託報酬のほか信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金が含まれますが、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。お客様はこれらの費用を間接的に負担することとなります。資産運用関係費は、運用手法の変更、運用資産額の変動等の理由により、将来変更される可能性があります。

＜特定のご契約者にご負担いただく費用＞

・特別勘定のユニット価格を計算した後に特定のご契約者にご負担いただきます。

項目	費用	時期
追加保険契約関係費(運用成果連動)	積立金の合計額が基本給付金額を上回り、かつ「選択いただける特別勘定」部分の積立金の合計額が基本給付金額の50%を上回るとき、それぞれ上回る金額のどちらか小さい金額に対して ・・・月当り0.25%(年率3.0%/12ヵ月)	月ごとの応当日の翌営業日に0.25%(年率3.0%/12ヵ月)を「選択いただける特別勘定」部分の積立金から控除します。 *月ごとの応当日(非営業日の場合は前営業日)に判定を行います。
貸付利息	日本生命所定の利率	契約応当日の翌営業日に貸付金の元金に繰り入れます。
解約控除	契約日(増額分については増額日。以下同じ。)から解約日までの年数が10年未満の場合に、契約日からの経過年数に応じ、基本給付金額に対して・・・ 8.0%～0.8%(下表参照)	解約時に積立金から控除します。
	契約日(増額分については増額日。以下同じ。)から減額日までの年数が10年未満の場合に、契約日からの経過年数に応じ、減額する基本給付金額(※2)に対して・・・ 8.0%～0.8%(下表参照)	減額時に基本給付金額の減額分に対応する積立金から控除します。

※2 増額が行われたご契約の減額については、契約日からの基本給付金額部分、増額日の古い基本給付金額部分の順で減額を行い、それぞれの経過年数に応じた解約控除を積立金から差引きます。

### 解約控除率

契約日からの経過年数	1年未満	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上4年未満	4年以上5年未満	5年以上6年未満	6年以上7年未満	7年以上8年未満	8年以上9年未満	9年以上10年未満
基本給付金額に対する解約控除率	8.0%	7.2%	6.4%	5.6%	4.8%	4.0%	3.2%	2.4%	1.6%	0.8%

### ■ 年金支払期間中の費用

次の費用を控除したうえで年金額は計算されます。年金特約付加による年金支払の場合も同様です。

年金種類	5年確定年金	左記以外
保険契約関係費	支払年金額に対して・・・0.58%	支払年金額に対して・・・1.00%

年金支払開始日以降、年1回の年金支払日に責任準備金から控除されます。

- \* 年金特約の年金については2017年4月1日以降、主契約の年金については2017年7月1日以降、上記の率が適用されます。
- \* 年金支払期間中の費用は、将来変更される可能性があります。

当商品に係る費用の合計額は《据置(運用)期間中の費用(「保険契約関係費」・「資産運用関係費」)》《年金支払期間中にかかる費用(保険契約関係費)》の合計となります。また、特定のお客様には《保険契約維持費》《貸付利息》《解約控除》がかかります。

ご契約に際しては、「特に重要なお知らせ(契約概要・注意喚起情報)」「ご契約のしおりー約款」「特別勘定のしおり」を必ずご確認ください。

- 当資料は、『ニッセイ投資型年金(90歳原資保証型)ドリームセレクト90』の各特別勘定について運用状況等を開示するための資料です。
- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 特別勘定のユニット価格の値動きは、特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の値動きとは異なります。これは特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備え、一定の現預金等を保有していることや、ユニット価格の計算にあたり、保険契約関係費等を控除することによります。
- 巻頭に《ご留意いただきたい事項》を記載しておりますので、必ずご確認ください。



【特別勘定名】日本株式Ⅲ型(NI-TX)  
 【投資信託名】ニッセイ国内株式インデックスSA(適格機関投資家限定)

【投資信託委託会社】  
 ニッセイアセットマネジメント  
 株式会社

■当資料は、ニッセイ投資型年金の特別勘定が主たる投資対象とする投資信託について運用状況等を開示するための資料です。  
 当資料で開示される投資信託の運用状況等は、あくまで参考情報であり、お客様が直接投資信託を購入・保有するものではありません。  
 ■当資料は、投資信託委託会社からの運用報告を日本生命が提供するものであり、日本生命がその正確性・完全性を保証するものではありません。  
 また、当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
 ■特別勘定の運用状況等については、「特別勘定の運用概況」をご覧ください。

◆運用の特徴

- TOPIX（東証株価指数）（配当込み）をベンチマークとし、当該ベンチマークに連動する投資成果を目指します。
- 運用効率向上のため、ファミリーファンド方式を活用し、マザーファンドで現物株式の運用を行います。

◆設定来の運用実績



(設定日)

※上記のグラフは設定日を100として、指数化したものです。  
 ※当ファンドの信託報酬率は純資産総額に対し年率0.0825%（税抜 年率0.075%）です。  
 ※基準価額の算出にあたっては信託報酬を控除してあります。  
 ※2024年12月2日に、当ファンドのベンチマークを「TOPIX（東証株価指数）」から「TOPIX（東証株価指数）（配当込み）」に変更しました。

◆基準価額等

基準価額	37,141円
前月末比	78円
純資産総額	94億円

◆組入比率

	組入比率
マザーファンド	100.0%
先物	-
短期金融資産	-0.0%
合計	100.0%

※対純資産総額比

◆資産構成比率

	構成比率
株式	101.1%
うち現物	98.0%
うち先物	3.1%
短期金融資産	-1.1%

※マザーファンド／対純資産総額比

◆運用実績(税引前分配金再投資基準価額の騰落率)

	1ヵ月間	2ヵ月間	3ヵ月間	6ヵ月間	1年間	2年間	3年間	設定来
ファンド	0.21%	-3.60%	-3.46%	1.77%	-1.64%	38.84%	46.60%	271.41%
ベンチマーク	0.22%	-3.57%	-3.44%	1.81%	-1.55%	39.15%	47.24%	298.67%

※ベンチマークは設定日の終値を起点として計算しています。

◆組入上位10業種

	業種	ファンド	ベンチマーク
1	電気機器	17.3%	17.4%
2	銀行業	9.6%	9.5%
3	情報・通信業	7.6%	7.6%
4	輸送用機器	7.3%	7.2%
5	卸売業	6.8%	6.7%
6	機械	5.5%	5.6%
7	化学	4.9%	4.9%
8	サービス業	4.5%	4.6%
9	小売業	4.5%	4.5%
10	医薬品	4.2%	4.2%

※マザーファンド／対組入株式評価額比

◆組入上位10銘柄

(組入銘柄数：1605銘柄)

	銘柄	ファンド	ベンチマーク
1	トヨタ自動車	3.7%	3.7%
2	ソニーグループ	3.4%	3.4%
3	三菱UFJフィナンシャル・グループ	3.4%	3.4%
4	日立製作所	2.4%	2.3%
5	三井住友フィナンシャルグループ	2.1%	2.0%
6	任天堂	1.7%	1.7%
7	リクルートホールディングス	1.6%	1.6%
8	キーエンス	1.5%	1.5%
9	東京海上ホールディングス	1.5%	1.5%
10	みずほフィナンシャルグループ	1.4%	1.4%

※マザーファンド／対組入株式評価額比

■当資料はニッセイアセットマネジメント株式会社が信頼できると思われる情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。  
 ■上記の実績・データ等は過去のもので、将来の運用成果等を保証するものではありません。  
 ■上記に示された意見などは、当資料作成日現在の見解であり、事前の連絡無しに変更される事もあります。

【特別勘定名】世界公社債Ⅲ型(NI-GB)  
 【投資信託名】ニッセイ外国債券アクティブSA(適格機関投資家限定)

【投資信託委託会社】  
 ニッセイアセットマネジメント  
 株式会社

■当資料は、ニッセイ投資型年金の特別勘定が主たる投資対象とする投資信託について運用状況等を開示するための資料です。  
 当資料で開示される投資信託の運用状況等は、あくまで参考情報であり、お客様が直接投資信託を購入・保有するものではありません。  
 ■当資料は、投資信託委託会社からの運用報告を日本生命が提供するものであり、日本生命がその正確性・完全性を保証するものではありません。  
 また、当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
 ■特別勘定の運用状況等については、「特別勘定の運用概況」をご覧ください。

◆運用の特徴

F T S E世界国債インデックス（除く日本、円ベース）をベンチマークとし、当該ベンチマークを中長期的に上回る収益の獲得を目指します。  
 運用効率向上のため、ファミリーファンド方式を活用し、マザーファンドで現物債券の運用を行います。

◆設定来の運用実績



注) 上記のグラフは設定日を100として、指数化したものです。当ファンドの信託報酬率は純資産総額に対し年率0.55%（税抜 年率0.50%）です。基準価額の算出にあたっては信託報酬を控除してあります。

◆基準価額

基準価額	20,544円
前月末比	227円
純資産総額	315百万円

◆組入比率

	組入比率
マザーファンド	100.0%
先物	-
短期金融資産	-0.0%
合計	100.0%

※対純資産総額比

◆資産構成比率

海外債券	97.4%
うち現物	97.4%
うち先物	-
短期金融資産	2.6%

※マザーファンド/対純資産総額比

◆運用実績（税引前分配金再投資基準価額の騰落率）

	1か月間	3か月間	6か月間	1年間	3年間	設定来
ファンド	1.12%	-3.04%	1.85%	1.16%	13.26%	105.44%
ベンチマーク	1.21%	-2.10%	2.51%	2.25%	16.94%	139.85%

※上記の騰落率は、あくまで参考データとする目的で過去の実績を示したものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

◆組入上位10ヵ国

国	ファンド	ベンチマーク	差異
1 アメリカ	41.1%	47.3%	-6.3%
2 スペイン	12.3%	4.4%	7.9%
3 イタリア	9.9%	6.8%	3.1%
4 中国	8.7%	11.2%	-2.5%
5 フランス	5.1%	7.2%	-2.1%
6 イギリス	4.8%	5.3%	-0.5%
7 ドイツ	3.5%	5.7%	-2.2%
8 カナダ	2.3%	2.0%	0.3%
9 オーストラリア	2.0%	1.2%	0.8%
10 オランダ	1.8%	1.3%	0.5%

※マザーファンド/対純資産総額比  
 ※国にはこれに準ずる地域区分を含みます。

◆通貨別構成比

通貨	ファンド	ベンチマーク
1 アメリカドル	47.2%	47.3%
2 ユーロ	29.5%	29.5%
3 オフショア人民元	11.3%	11.2%
4 イギリスポンド	5.3%	5.3%
5 カナダドル	2.0%	2.0%
- その他	4.7%	4.7%

※マザーファンド/対純資産総額比

◆組入債券属性

	ファンド	ベンチマーク
平均格付	AA	AA
デュレーション	6.44年	6.28年
平均最終利回り	3.53%	3.52%

※平均格付とは、マザーファンドが組み入れている債券にかかる格付を加重平均したものであり、当ファンドにかかる格付ではありません。

◆運用の概況

当月の米長期金利は前月と変わらない水準で引けました。前半は、米商務長官がメキシコとカナダに対する関税軽減を示唆したことや、ウクライナが米国の提示した30日間の停戦案を受け入れる用意があるとの報道を受けて、金利は上昇しました。後半は、米連邦公開市場委員会(FOMC)で政策金利が据え置かれた一方で、保有資産を圧縮する量的引き締め(QT)の減額方針が決定されたことや、パウエル米連邦準備制度理事会(FRB)議長が「関税によるインフレ影響は一時的である」と示唆したことを受け、金利は低下しました。その後、金利はボラティル(変動が激しい)に上下したものの、月末にかけてはトランプ米政権による追加関税の発動を控える中で市場心理がリスク回避に傾いたことで債券は買い戻される展開となり、米長期金利は月末時点で4.21%となりました。

当月の欧州(独)長期金利は前月から大幅に上昇しました。前半は、ドイツで最大野党と首相が所属する与党が財政赤字を一定の規模に抑える「債務ブレーキ」の枠組みを超えた大規模な財政拡大案について合意した旨が報じられ、大幅な金利上昇となりました。その後、欧州中央銀行(ECB)理事会では市場予想通り政策金利の0.25%引き下げが決定されましたが、声明文に「金融政策は実質的に引き締めるでなくなりつつある」との文言が盛り込まれ、追加の利下げに慎重な姿勢が示されたことで金利は再び上昇しました。後半は、トランプ米政権による関税政策が欧州の景気に悪影響を及ぼす懸念などから金利は低下し、月初からの金利上昇幅を縮小させる展開となりました。月末時点での欧州(独)長期金利は2.74%となりました。

当ファンドでは、金利変動リスクの大きさを示すデュレーションを中立から小幅な長期化で調整しました。米国の底堅い労働市場やリスク性資産の反発を背景にドル圏のデュレーションは中立近傍を維持しつつ、長期以降の年限をオーバーウェイトし、中期以下の年限をアンダーウェイトとするフラットナーのポジションを維持しました。欧州圏については、デュレーションは中立近傍を維持しつつ、長期以降の年限をアンダーウェイトとし、中期以下の年限をオーバーウェイトとするスティーパーナーのポジションを維持しました。

国別配分では、ドル圏では、キャリアロールダウン(利息収入と残存期間減少に伴う債券価格の上昇で生じる収益)の良好なニュージーランドのデュレーションの長期化を維持しました。欧州圏では、コア国のデュレーションは短期化を維持し、財政状況やボラティリティ(価格変動性)対比でのキャリア(金利差収入)妙味等を勘案してスペインのデュレーションの長期化を維持しました。

通貨配分は、主にルウヴェークローネのオーバーウェイトに対して、ユーロのアンダーウェイトのポジションを中心に調整しました。

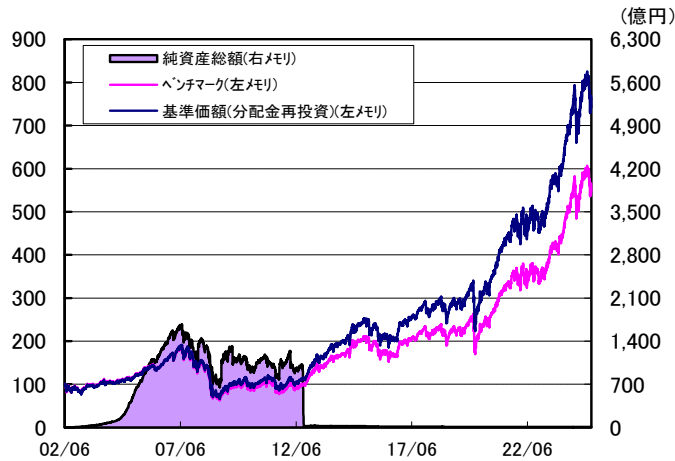
注)当資料は信頼できると思われる情報に基づきニッセイアセットマネジメントにより作成されていますが、ニッセイアセットマネジメントはその正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、当資料作成日現在の見解であり、事前の連絡無しに変更される事もあります。

【特別勘定名】世界株式Ⅲ型(MS-KO)  
 【投資信託名】インベスコ MSCIロクサイ・インデックス・ファンド I  
 (適格機関投資家専用)

【投資信託委託会社】  
 インベスコ・アセット・マネジメント  
 株式会社

- 当資料は、ニッセイ投資型年金の特別勘定が主たる投資対象とする投資信託について運用状況等を開示するための資料です。  
 当資料で開示される投資信託の運用状況等は、あくまで参考情報であり、お客様が直接投資信託を購入・保有するものではありません。  
 ■当資料は、投資信託委託会社からの運用報告を日本生命が提供するものであり、日本生命がその正確性・完全性を保証するものではありません。  
 また、当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
 ■特別勘定の運用状況等については、「特別勘定の運用概況」をご覧ください。

## 運用実績



- \*過去の運用実績は将来の運用成果を保証するものではありません。  
 \*基準価額は税引前分配金再投資の基準価額です。  
 \*基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は純資産総額に対して0.44%(税抜0.40%)です。  
 \*設定日の基準価額、ベンチマークを100として指数化しています。\*ベンチマークはMSCIロクサイ・インデックス(税引後配当込み、円換算ベース)です。ベンチマークは、簡便法(基準日前日のドル建指数を基準日のドル円TTMLレートで評価する方法)で算出しています。  
 \*当ファンドのベンチマークは設定日から2023年10月5日までは「MSCIロクサイ・インデックス(円換算ベース)」、2023年10月6日以降は「MSCIロクサイ・インデックス(税引後配当込み、円換算ベース)」に変更しています。主な変更点は「配当なし指数」から「配当込み指数」への変更です。本資料のベンチマークは両指数を指数化し、結合したものを掲載しています。

## 純資産総額

純資産総額 7.4 億円

## 資産構成比率

株式	95.44%
先物取引	4.19%
現金等	0.38%

銘柄数	1,172
-----	-------

- \*資産構成比率はマザーファンドの純資産総額対比で計算しています。  
 \*現金等の比率は、純資産総額から組入有価証券評価額を差し引いて算出していますので一時的にマイナスになることがあります。  
 \*組入銘柄数は、マザーファンドで組み入れている株式銘柄数を示しています。  
 \*株式には、投資信託証券などが含まれます。

## 組入株式上位10銘柄 (マザーファンド)

銘柄名	国名	業種	比率
1 APPLE	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	4.89%
2 NVIDIA	アメリカ	半導体・半導体製造装置	4.01%
3 MICROSOFT	アメリカ	ソフトウェア・サービス	3.99%
4 AMAZON.COM	アメリカ	一般消費財・サービス流通・小売り	2.72%
5 META PLATFORMS-A	アメリカ	メディア・娯楽	1.88%
6 ALPHABET INC-CL A	アメリカ	メディア・娯楽	1.35%
7 ALPHABET INC-CL C	アメリカ	メディア・娯楽	1.16%
8 TESLA	アメリカ	自動車・自動車部品	1.14%
9 BROADCOM	アメリカ	半導体・半導体製造装置	1.12%
10 BERKSHIRE HATHAWAY-B	アメリカ	金融サービス	1.05%

- \*業種はベンチマークで採用している分類に準じています。  
 \*比率はマザーファンドの純資産総額対比で計算しています。

本書は信頼できる公開情報に基づいて作成されたものですが、その情報の正確性あるいは完全性は保証されていません。

## 累積リターン

	ファンド*	ベンチマーク	差
1 ヵ月	-3.63%	-3.60%	-0.03%
3 ヵ月	-8.56%	-8.49%	-0.07%
6 ヵ月	2.80%	2.98%	-0.17%
1 年	5.93%	6.33%	-0.40%
3 年	48.95%	46.74%	2.20%
5 年	190.32%	179.92%	10.40%
設定来(月次)	647.50%	447.59%	199.91%
設定来	641.89%	-	-

- \*ファンドの累積リターンは、税引前分配金再投資により算出しています。信託報酬控除後のリターンです。  
 \*ベンチマークの累積リターンは、ファンドの基準価額算出方法と同一基準(基準日前日の各外貨建資産を基準日の各通貨毎のTTMLレートで評価する方法)で月次ベースでのみ算出しています。  
 なお、2009年5月1日より日次ベースでの算出に変更しています。

## 組入株式上位5カ国 (マザーファンド)

国名	比率
1 アメリカ	72.31%
2 イギリス	3.87%
3 カナダ	3.10%
4 フランス	2.97%
5 スイス	2.58%

\*比率はマザーファンドの純資産総額対比で計算しています。

## 組入株式上位5業種 (マザーファンド)

業種	比率
1 情報技術	23.18%
2 金融	16.55%
3 ヘルスケア	10.81%
4 資本財・サービス	9.90%
5 一般消費財・サービス	9.38%

- \*業種はベンチマークで採用している分類に準じています。  
 \*比率はマザーファンドの純資産総額対比で計算しています。